



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 キョウデン
 コード番号 6881 URL <https://www.kyoden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 森 清隆
 (氏名) 渡邊 真樹
 TEL 03-5789-2273

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,331	3.8	861	59.6	967	53.5	677	240.5
2020年3月期第1四半期	12,818	8.3	539	52.2	630	41.4	198	75.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 255百万円 (19.6%) 2020年3月期第1四半期 317百万円 (61.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.63	
2020年3月期第1四半期	4.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,581	18,782	40.2
2020年3月期	45,502	18,775	41.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,703百万円 2020年3月期 18,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	3.1	3,000	37.1	2,900	35.3	1,900	17.1	38.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	52,279,051 株	2020年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,592,855 株	2020年3月期	2,592,855 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	49,686,196 株	2020年3月期1Q	49,686,196 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、前年度終盤からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行により経済環境は非常に厳しい状況となりました。我が国においても、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく状況にあります。依然として不安定な世界経済の動向に影響を受け、輸出や生産に弱さが見られるなど、企業をとりまく経営環境は未だ不透明な状況にあります。このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.8%減の12,331百万円、営業利益は前年同期比59.6%増の861百万円、経常利益は前年同期比53.5%増の967百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比240.5%増の677百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子事業)

電子事業におきましては、新型コロナウイルスの影響により5月以降全般的な受注の落ち込みが見受けられる一方、国内基板事業につきましては、前年度から積み上がっていた受注残の出荷などもあり増収となりましたが、EMS事業ならびに海外基板事業は減収となり、電子事業全体の売上高は前年同期比5.0%減の9,547百万円と減収となりました。セグメント利益は、主に前年度行いました事業構造改革による生産効率改善の効果が表れた事により、前年同期比71.1%増の646百万円と増益となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速に加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、全般に販売は伸びませんでした。しかしながら、都市インフラ関連や原料仕入れ販売等、一部製品・商品の販売が堅調であったことに加えて、経費節減に努めたほか、減価償却負担減も収益を押し上げました。その結果、売上高は前年同期比0.7%増の2,783百万円、セグメント利益は前年同期比32.7%増の214百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は46,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,079百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金の増加1,419百万円、受取手形及び売掛金の減少771百万円、商品及び製品の増加197百万円及び仕掛品の増加249百万円であります。

負債の残高は27,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,072百万円増加しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少663百万円、借入金の増加2,137百万円及び未払法人税等の減少473百万円であります。

純資産の残高は18,782百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加25百万円、為替換算調整勘定の減少437百万円及び利益剰余金の増加428百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,173	6,592
受取手形及び売掛金	14,187	13,416
電子記録債権	2,431	2,447
商品及び製品	2,206	2,403
仕掛品	2,102	2,351
原材料及び貯蔵品	3,314	3,391
その他	377	385
貸倒引当金	△143	△143
流動資産合計	29,649	30,845
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,286	4,247
その他（純額）	9,232	9,261
有形固定資産合計	13,518	13,508
無形固定資産		
	269	266
投資その他の資産		
その他	2,220	2,116
貸倒引当金	△156	△155
投資その他の資産合計	2,064	1,960
固定資産合計	15,852	15,736
資産合計	45,502	46,581

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,860	6,197
電子記録債務	1,025	990
短期借入金	2,409	3,206
1年内償還予定の社債	326	256
1年内返済予定の長期借入金	2,272	2,545
未払法人税等	687	214
賞与引当金	406	158
その他	3,248	3,675
流動負債合計	17,236	17,242
固定負債		
社債	480	480
長期借入金	4,815	5,882
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	2,639	2,675
その他	1,547	1,509
固定負債合計	9,489	10,555
負債合計	26,726	27,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	11,075	11,504
自己株式	△491	△491
株主資本合計	19,116	19,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	173
為替換算調整勘定	△557	△995
退職給付に係る調整累計額	△6	△19
その他の包括利益累計額合計	△415	△841
非支配株主持分	74	79
純資産合計	18,775	18,782
負債純資産合計	45,502	46,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,818	12,331
売上原価	10,857	10,106
売上総利益	1,960	2,224
販売費及び一般管理費	1,421	1,363
営業利益	539	861
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	11	6
為替差益	—	102
投資事業組合運用益	97	—
その他	20	24
営業外収益合計	130	135
営業外費用		
支払利息	25	21
為替差損	6	—
その他	7	7
営業外費用合計	39	28
経常利益	630	967
特別損失		
事業構造改善費用	312	—
特別損失合計	312	—
税金等調整前四半期純利益	318	967
法人税、住民税及び事業税	147	157
法人税等調整額	△31	128
法人税等合計	116	286
四半期純利益	201	681
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	198	677

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月 1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	201	681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	25
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	102	△437
退職給付に係る調整額	1	△13
その他の包括利益合計	115	△426
四半期包括利益	317	255
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	314	251
非支配株主に係る四半期包括利益	2	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,052	2,765	12,818	—	12,818
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,052	2,765	12,818	—	12,818
セグメント利益	378	161	539	—	539

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子事業」セグメントにおいて、当社の横浜事業所生産停止の意思決定に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において312百万円であり、特別損失の「事業構造改善費用」に含まれております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,547	2,783	12,331	—	12,331
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,547	2,783	12,331	—	12,331
セグメント利益	646	214	861	—	861

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。